

2021年1月15日

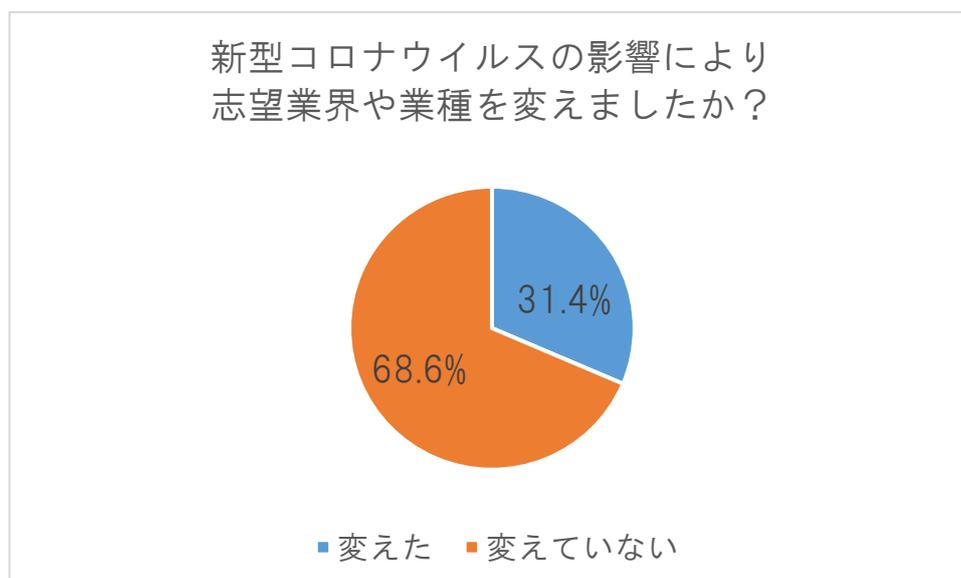
会社名 株式会社ジェイック  
 代表者名 代表取締役 佐藤 剛志  
 (コード番号 7073 東証マザーズ)

## 2021年1月実施 新型コロナウイルスに関する21卒学生アンケート 企業選びで重視するようになったことは「企業の将来性」

当社は、21卒学生を対象にした「新型コロナウイルスに関するアンケート」(回答者数210名(内、就職活動を継続中の学生105名)/2021年1月4日-6日実施)についての結果を発表します。

### ＜約3割の学生が新型コロナウイルスの影響により、志望業界や業種を変更＞

新型コロナウイルスの影響により、志望業界や業種を変えたか質問したところ、約3割の学生が「変えた」と回答しました。就職活動中、新型コロナウイルス感染拡大が企業や社会に与えた影響を目の当たりにし、自身の志望している業界や業種を見直したと考えられます。

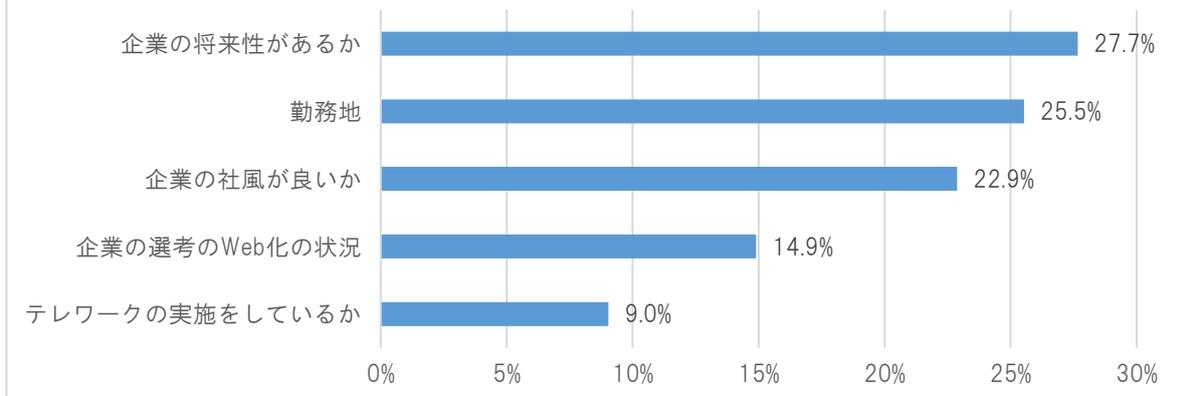


### ＜新型コロナウイルスの影響により、「企業の将来性があるか」を重視する傾向に＞

次に、新型コロナウイルスの影響により、企業選びで重視するようになったことがあるかを質問したところ、「企業の将来性があるか」が27.7%で最多でした。これは、2020年9月に実施した“内定先に関する21卒学生アンケート”の入社企業の決め手のなかで、「将来性がある」と答えた割合が5.0%と低かったことと対照的な結果となっています。

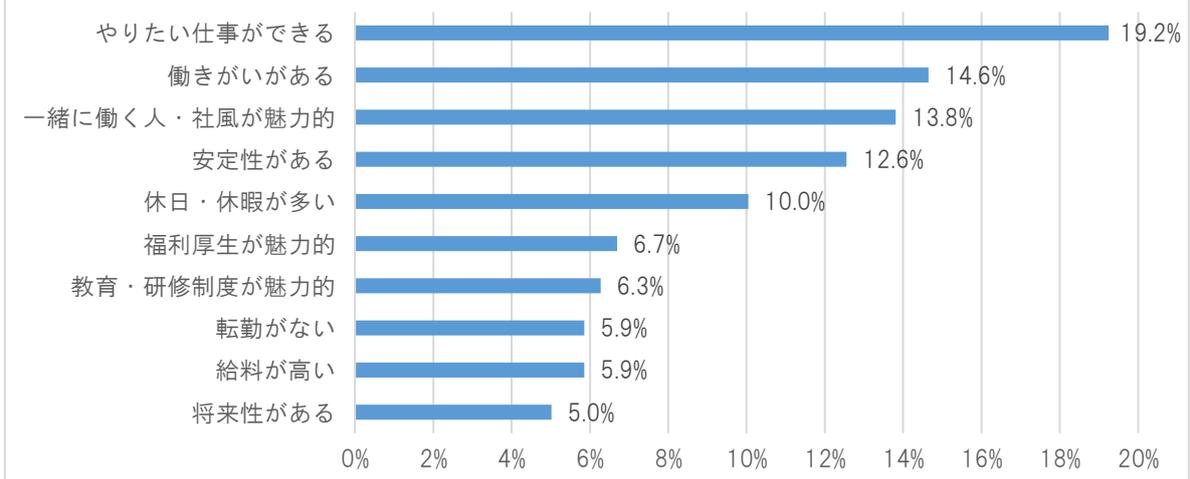
コロナ禍において学生は企業の業績悪化の報道を目にすることが増え、with コロナ、after コロナでも生き残れる企業かどうか、見極めていると考えられます。

## 新型コロナウイルスの影響により 企業選びで重視するようになったことはありますか？



### <参考>

## 入社企業の決め手（2020年9月実施）



### （2020年9月に実施した調査の概要）

対象：当社の新卒向け就職支援サービス「新卒カレッジ®」に登録した2021年卒業予定者

回答者数：140名（内定取得者）

期間：2020年9月1日-9月4日

この結果について、当社常務取締役の近藤は「現在の経済・社会的状況下において、企業としてどのように事業を推進しているか、生き残っていけるかといった成長戦略を、学生に分かりやすく説明会や面接で伝えていくことが重要だ。そして、学生は企業業績や将来性だけでなく、コロナ禍での働き方などを見極めながら就職活動を進めている。今年の学生の特徴として、多くの大学でオンライン講義が実施され、自宅を中心に活動をしているため、自己管理や基本的なPC操作の技術が高く、在宅勤務にもすぐ適応できると感じる。企業側が、こういった学生側の強みを理解した採用・教育をしていく必要がある」と述べています。



近藤 浩充

当社常務取締役カレッジ事業本部長兼マーケティング開発部長。大学卒業後、情報システム系の会社を経て入社。IT戦略事業部長、経営戦略室長、教育事業部長、若手の採用・就職支援を行うカレッジ事業部長を経て現職。若手求職者の傾向と企業の採用・育成課題の双方を知る立場から、当社の若手求職者向け就活研修・企業向け教育研修を監修するほか、一般企業、金融機関、経営者クラブ、高校などで、若手の採用や育成、キャリア形成等についての講演も多数行っている。

**【調査概要】**

名称 : 新型コロナウイルスに関する 21 卒学生アンケート  
対象 : 当社の新卒向け就職支援サービス「新卒カレッジ®」に登録した 2021 年卒業予定者  
回答者数 : 210 名 (内、就職活動継続中 105 名)  
期間 : 2021 年 1 月 4 日-1 月 6 日

**【お問い合わせ先】**

株式会社ジェイック 担当: 稲葉

E-mail: [info@jaic-g.com](mailto:info@jaic-g.com) テレワーク実施中のため、メールでのご連絡をお願いいたします。